令和７年度　出資団体評価シート

１　基本情報

団体名	（株）札幌都市開発公社	所管課	経）商業・経営支援課
		記入者	担当　秦　電話　011-211-2372
基本財産	520,000千円	本市出資額	123,000千円　（出資割合　23.7%　）
設立年月日	昭和44年(1969年）5月31日	出資年月日	昭和45年(1970年）4月17日
設立・出資目的	札幌冬季オリンピック開催に伴う地下鉄建設計画を契機に都心部の交通緩和、高度利用ならびに冬期雪害対策等を目的として、地下商店街と併せて公共通路・公共駐車場が建設されることなり、これらの施設の建設及び維持管理運営を行うため設立された。	沿革	昭和44年　会社設立（本市からの出資なし） 昭和45年　増資に伴い、札幌市も出資（51,000千円） 昭和46年　さっぽろ地下街開業 昭和52年　増資により、現在の資本金・出資額に至る 平成24年　開業40周年に向けた大規模改修工事開始 平成25年　大通地下駐車場改修工事竣工
代表者	代表取締役社長（常勤）　田中　俊成（市ＯＢ）		
主な出資者	① 札幌市　(23.7%)　② 札幌商工会議所　(10.1%)　③ (株)日本政策投資銀行　(9.6%) ④ ㈱さっぽろテレビ塔　(6.1%)　⑤ 北海道　(5.8%)　⑥ (株)北洋銀行　(5.0%)		
団体所在地	〒 060-0052　中央区南2条東1丁目1番地14　住友生命札幌中央ビル２階　電話　011-231-6060		

２　実施事業

（詳細については事業評価シート参照）

(1)　[No.]　[主要事業名]　（該当ページ）

[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]

① さっぽろ地下街公共通路・店舗等賃貸管理（6ページ） 公共地下通路及びそれに付帯する店舗等の防災面や通行の安全性を確保しつつ、天候に左右されることなく、安心して買い物や都心内拠点間通行ができる商店街として、都心部の魅力を高める。	② 駐車場賃貸業務 （7ページ） 都心部の中核となる駐車場として、買物客や観光客、ビジネス客といった幅広い利用者のニーズに対応し、利便性を高める。
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧

(2)総支出に占める事業支出割合　100.0%　(主要事業支出合計　1,846,683千円　÷総支出　1,846,683千円)

(3)主要事業の有効性　（出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか）

評価	■ 十分出ている	□ 高める余地あり	□ 出ていない
理由	公共地下通路や公共地下駐車場を安全かつ円滑に管理・運営しており、出資目的に見合う効果が出ている。		

(4)主要事業の質・量　（出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか）

評価	■ 実施されている	□ 一部見直す必要がある	□ 実施されていない
理由	防災訓練の定期的な実施や各種施設の適時適切な修繕により、公共地下通路や公共地下駐車場は安定的に管理・運営されている。		

３　団体職員・構成員等

令和7年4月1日現在(単位：人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					11
常勤取締役	2	0	1	0	
常勤監査役	0	0	0	1	
非常勤取締役	5				
非常勤監査役	2				
職員					45
常勤管理職	1	0	8	0	
常勤一般職	0	0	36	0	
非常勤職員	0				

プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	7
20歳代	2	50歳代	18
30歳代	7	60歳代	10
平均年齢	51.8	歳	

役員の任期	
取締役	2　年
監査役	4　年
代表権のある役員の就任年月	
取締役	R6.6
監査役	R5.6
職員総数の推移(人)	
R05.4.1時点	42
R06.4.1時点	45

（株）札幌都市開発公社

4　財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区　分				R5年度決算	R6年度決算	（経常収入比）	（前年比）
財務状況	経常収入内訳		経常収入（a+f）	2,076,952	2,091,206	(100.0%)	(＋14,254)
	損益計算書	営業	売上高（a）	2,034,863	2,047,884		(＋13,021)
			営業費用（b）	1,775,155	1,846,683		(＋71,528)
			うち販売費・一般管理費（c）	150,108	157,640	(7.5%)	(＋7,532)
			うち人件費(d)	263,361	250,879	(12.0%)	(▲ 12,482)
			営業利益（e）	259,708	201,201		(▲ 58,507)
		営業外	営業外収益（f）	42,089	43,322		(＋1,233)
		当期純利益(g)		200,067	168,083		(▲ 31,984)
	貸借対照表	資産(h)		6,007,868	6,115,965		(＋108,097)
			流動資産(i)	903,382	796,629		(▲ 106,753
			固定資産(j)	5,104,486	5,319,336		(＋214,850)
		負債(k)		2,125,488	2,096,701		(▲ 28,787)
			流動負債(l)	553,324	453,943		(▲ 99,381)
			固定負債(m)	1,572,164	1,642,758		(＋70,594)
		純資産(n)		3,882,380	4,019,263		(＋136,883)
			資本金(o)	520,000	520,000		(0)
		借入金残高(p)		0	0		(0)

R6年度決算の概要	
区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	前事業年度対比100.6%と堅調に推移した。
b	工事に関する費用や業務委託費用が増加となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5　本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区　分	R5年度決算	R6年度決算	（前年比）
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
（参考）再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
（参考）市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

6　財務指標に基づく評価

（金額単位：千円）

項　目		R5年度	R6年度	(前年比)	評価基準	備　考
⑴健全性	剰余金(n-o)	3,362,380	3,499,263	(＋136,883)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	64.6%	65.7%	(＋1.1%)	≧50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	163.3%	175.5%	(＋12.2%)	≧150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	131.5%	132.3%	(＋0.9%)	≦100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
⑵生産性	職員一人当り経常収益	49,451千円	46,471千円	(▲ 2,980千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	12.9%	12.3%	(▲0.7%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	3,574千円	3,503千円	(▲ 71千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	7.4%	7.7%	(＋0.3%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
⑶自立性	市依存度（収入）	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益

健全性の評価	□	非常に高い	■	高い	□	概ね健全	□	やや低い	□	低い

理由	「健全性」について、「固定比率」は評価基準を満たしていないものの、「流動比率」は大幅に改善している。また、「自己資本比率」は引き続き60%を超えているほか、「剰余金」や「借入金依存度」は問題ない水準となっている。 「生産性」については、「職員一人当りの経常収益」は減少しているものの、「人件費率」「職員一人当たりの管理費」は評価基準を満たしている。 「自立性」については、市への財政的な依存はない。 以上から、経営状況の健全性は高いことが認められる。

(注１)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料（随意契約分）＋市指定管理費（非公募分）＋市施設利用料金収入（非公募分）

(注２)市収入＝市補助金・交付金・負担金＋市業務委託料＋市指定管理費＋市施設利用料金収入

7　「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、指標(※2)の達成状況の評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画（別冊子）を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組計画 No.	指標名		現状値（Ｒ５年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	備考
	○出資比率の維持							
①	本市出資金	目標		123,000千円	123,000千円	123,000千円	123,000千円	
		実績	123,000千円	123,000千円				
		評価		達成				
②		目標						
		実績						
		評価						
未達成理由と今後の対応（Ｒ６年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(2)人的関与

○取組計画 No.	指標名		現状値（Ｒ５年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	備考
	○必要な人的関与の継続							
①	本市職員の役員就任数	目標		1	1	1	1	
		実績	1	1				
		評価		達成				
②		目標						
		実績						
		評価						
未達成理由と今後の対応（Ｒ６年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(3)団体の活用

○取組計画 No.	指標名		現状値（Ｒ５年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	備考
	○公共地下通路及び地下駐車場の適切な管理運営							
①	地下街災害件数（年間）	目標		0	0	0	0	
		実績	0	0				
		評価		達成				
②	防災訓練の実施回数（年間）	目標		2	2	2	2	
		実績	2	2				
		評価		達成				
未達成理由と今後の対応（Ｒ６年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(4)更なる経営の安定化

○取組計画 No.	指標名		現状値（Ｒ５年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	備考
	○さっぽろ地下街テナントの賃借管理及び地下駐車場の運営による安定した事業収入の確保							
①	公共地下駐車場の事業収入（単位：千円）	目標		400,000	400,000	400,000	400,000	
		実績	423,255	417,196				
		評価		達成				
②		目標						
		実績						
		評価						
未達成理由と今後の対応（Ｒ６年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(5)団体統制

○取組計画 No.	指標名		現状値（Ｒ５年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	備考
	○運営状況に関する情報の共有化、定期監査実施の継続							
①	取締役会の開催回数（年間）	目標		5	5	5	5	
		実績	5	5				
		評価		達成				
②	外部監査回数（年間）	目標		3	3	3	3	
		実績	3	3				
		評価		達成				
未達成理由と今後の対応（Ｒ６年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

(6)札幌市の施策との連動

○取組計画 No.	指標名		現状値（Ｒ５年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	備考
	○障がいのある方の自立支援							
①	障がい者就労施設からの物品調達（契約金額、税抜）	目標		50,000円	50,000円	50,000円	50,000円	
		実績	106,000円	63,800				
		評価		達成				
②		目標						
		実績						
		評価						
未達成理由と今後の対応（Ｒ６年度の評価が未達成の場合のみ記載する）								

8　情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	http://www.kaikaku.or.jp/
Eメールアドレス	kaikaku@kaikaku.com

【経営状況等】

■ 定款　■ 役員名簿　■ 団体機構図　□ 事業計画書　□ 予算書
■ 事業報告書　■ 決算書　□ 中長期的な経営計画

【事業情報等】

■ 実施事業（イベント）情報　■ 管理施設情報
□ その他（　　）

ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：	さっぽろ地下街のガイドマップ発行、日本語版・4ヶ国語（英語、中文（繁体・簡体）、ハングル）版の２種類を作成し、総合案内所ほかで配布。

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和７年7月1日現在のものです。

事業評価 （ 1 ） さっぽろ地下街公共通路・店舗等賃貸管理

1．事業概要	事業所管課：	経）経営支援・雇用労働担当部商業・経営支援課	担当：	秦	電話：	211-2372

⑴事業内容	(1)地下公共通路及びそれに付帯する店舗等の維持管理及び賃貸事業 ・さっぽろ地下街は、東西に延びるオーロラタウンと、南北に延びるポールタウンの２つのストリートで構成されている。 ①オーロラタウン（店舗数60　延長312m） 衣料品16店　雑貨・身廻品14店　文化品2店　食品8店　飲食・喫茶9店 サービスほか11店 ②ポールタウン（店舗数73　延長400m） 衣料品16店　雑貨・身廻品24店　文化品4店　食品9店　飲食・喫茶11店 サービスほか　9店 合計（店舗数133） 衣料品32店　雑貨・身廻品38店　文化品6店　食品17店　飲食・喫茶20店 サービスほか20店
⑵事業目的	公共地下通路及びそれに付帯する店舗等の防災面や通行の安全性を確保しつつ、天候に左右されることなく、安心して買い物や都心内拠点間通行ができる商店街として、都心部の魅力を高める。
⑶事業開始	昭和46年(1971年）11月16日

２．実施結果

⑴事業収支（単位　千円） 項目	R5年度	R6年度	（前年比）
収入	1,611,806	1,630,688	(＋18,882)
（経常収益比）	(77.6 %)	(78.0 %)	
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
市施設利用料金収入	0	0	(0)
自主事業収入（補助金除く）	1,611,806	1,630,688	(＋18,882)
その他収入	0	0	(0)
費用（支出）	1,622,329	1,705,397	(＋83,068)
事業費	1,472,221	1,547,757	(＋75,536)
管理費等	150,108	157,640	(＋7,532)
収支差	▲ 10,523	▲ 74,709	(▲ 64,186)
収支比率	99.35%	95.62%	(▲ 3.73%)

⑵活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
❶ 防災訓練の実施	2	2	2	2
❷				
❸				
❹				
❺				
❻				

⑶成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
❶ 災害件数	0	0	0	0
❷ 地下街年間売上（百万円）	12,121	12,500	12,094	12,500
❸				
❹				
❺				
❻				

３．所管局による評価

⑴事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は	■	十分出ている	□	高める余地あり	□	出ていない

市民・観光客に公共地下通路等を安心・安全に利用していただくために、春季と秋季の年２回防災訓練を実施しており、災害件数はゼロを維持している。また、従業員に対し、安全意識を向上させるための研修等を実施することで、地下街の安全管理に努めている。これらの取組により、市民・観光客が安心してさっぽろ地下街を訪れることができる環境づくりを行っている。

以上のことから、当該団体の事業効果は、事業目的に対し十分得られているものと認められる。

⑵収支状況	当該事業の収支状況は	■	良好	□	見直しの余地あり	□	要改善

道路占用料の値上げにより管理費は前年より増加しているが、事業収入も前年を上回っており、収支状況は良好であると認められる。

（株）札幌都市開発公社

事業評価 （ 2 ） 駐車場賃貸業務

1．事業概要	事業所管課：	経）経営支援・雇用労働担当部商業・経営支援課	担当：	秦	電話：	211-2372

⑴事業内容	大通地下駐車場（収容台数366台）の運営管理
⑵事業目的	都心部の中核となる駐車場として、買物客や観光客、ビジネス客といった幅広い利用者のニーズに対応し、利便性を高める。
⑶事業開始	昭和46年(1971年）11月16日

2．実施結果

⑴事業収支（単位 千円） 項目	R5年度	R6年度	（前年比）
収入	423,255	417,196	(▲ 6,059)
（経常収益比）	(20.4 %)	(20.0 %)	
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
市施設利用料金収入	0	0	(0)
自主事業収入（補助金除く）	0	0	(0)
その他収入	423,255	417,196	(▲ 6,059)
費用（支出）	152,826	141,286	(▲ 11,540)
事業費	152,826	141,286	(▲ 11,540)
管理費等	0	0	(0)
収支差	270,429	275,910	(＋5,481)
収支比率	276.95%	295.28%	(＋18.33%)

⑵活動指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
❶ 利用しやすい駐車場を目指す（料金設定、プリペイドカード導入など）。	通年	通年	通年	通年
❷				
❸				
❹				
❺				
❻				

⑶成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績	R7年度目標
❶ 駐車場事業収入（千円）	423,257	435,000	417,196	430,000
❷ 年間利用台数（台）	584,154	588,000	575,712	532,000
❸				
❹				
❺				
❻				

3．所管局による評価

⑴事業の実施結果の有効性							
事業目的に対して事業の効果は	■	十分出ている	□	高める余地あり	□	出ていない

利用者の多様なニーズに対応できるよう、30分料金導入など様々な料金設定を行うとともに、多様な支払方法を用意している。また、ベビーカー利用者のニーズにも配慮し、ひろびろスペース（通常３台分の駐車マスを２台分として車間にゆとりを持たせたスペース）の提供も行っている。
これらの取り組みは、事業目的に対し十分な効果を得られているものと認められる。

⑵収支状況							
当該事業の収支状況は	■	良好	□	見直しの余地あり	□	要改善

事業収入は目標値を上回っている一方で、費用は減少しており、十分な収支を確保している。

（株）札幌都市開発公社

貸借対照表

令和 7 年 3 月 31 日 現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	千円		千円
【流動資産】	796,629	【流動負債】	453,943
現金及び預金	668,550	未払金	136,548
未収入金	71,509	未払法人税等	51,704
有価証券	30,000	前受金	143,933
その他流動資産	26,569	預り金	112,980
【固定資産】	5,319,336	賞与引当金	8,778
(有形固定資産)	3,241,179		
建物	3,021,984		
構築物	78,995	【固定負債】	1,642,758
器具備品	53,187	受入保証金	23,401
土地	4,500	受入敷金	1,502,817
リース資産	75,449	退職給付引当金	48,574
建設仮勘定	7,062	長期未払金	67,964
(無形固定資産)	506,939		
電話加入権	1,693	負債の部合計	2,096,702
ソフトウエア	2,990	純資産の部	
施設利用権	502,254	【株主資本】	4,019,263
(投資その他の資産)	1,571,216	(資本金)	520,000
投資有価証券	160,751	資本金	520,000
差入保証金	9,911	(利益剰余金)	3,499,263
保証金返還積立金	1,362,023	利益準備金	130,000
長期前払費用	8,974	別途積立金	2,418,800
繰延税金資産	29,422	繰越利益剰余金	950,463
その他	133	純資産の部合計	4,019,263
資産合計	6,115,965	負債・純資産合計	6,115,965

損　益　計　算　書

自　令和　6年　4月　1日
至　令和　7年　3月　31日

科　　目	金　　額	
		千円
【　売　上　高　】		2,047,884
【　売　上　原　価　】		1,689,043
売　上　総　利　益		358,841
【販売費及び一般管理費】		157,640
営　業　利　益		201,200
【　営　業　外　収　益　】		
受取利息・配当金	1,253	
雑　　収　　入	42,069	43,322
【　営　業　外　費　用　】		
支　払　利　息	761	
雑　　損　　失	0	761
経　常　利　益		243,762
【　特　別　損　失　】		
固定資産除却損	144	144
税引前当期純利益		243,618
法人税、住民税及び事業税		77,213
法人税等調整額		△ 1,678
当　期　純　利　益		168,083